



# 志楽小学校だより

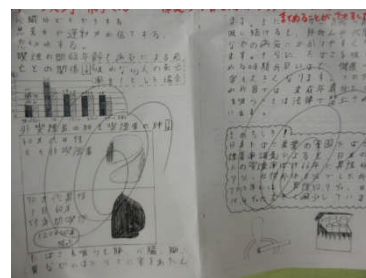
舞鶴市立志楽小学校  
令和元年度学校だより  
第 12 号  
令和2年1月31日発行

## 「できた！」を重ねる

昨年よりもさらに暖かい冬が過ぎようとしています。先日も道端で、春の野によく咲く「ヒメオドリコソウ」が花を付けているのを見かけました。雪も降らず、水たまりが凍ることもなく、この冬は過ぎてしまうのでしょうか。世界でも、オーストラリアで広大な土地が恐ろしい勢いで燃えているのを見ると、自然の、人間が及ばない「力」を感じずにはいられません。

風邪やインフルエンザについても、昨年末の猛威には驚かされました。今年に入って、少し落ち着きはしていますが、まだまだ油断大敵です。学校では、うがい・手洗いの励行、教室の換気に取り組んでいます。ご家庭でもどうぞ、体調管理にご留意ください。

学校には、児童昇降口前の廊下に子どもたちの自主学習を紹介しているコーナーがあります。子どもたちがそれぞれで工夫をして自主学習をしています。宿題に加えて計算練習をしたり、覚えにくい漢字を文章にして書いたり、興味を持ったことを調べたり、新聞から情報を得てそれについて自分なりに考えたり、内容は様々です。宿題のドリルやプリント以外に自分で考えて学習に取り組むのは、慣れないうちは難しいものですが、繰り返し取り組み、友達のノートも参考にして続けるうちに、その子なりの自主学習ノートができてきます。「続ける」ことの大切さを実感します。



まずは、授業で「分かる」こと、宿題で練習すること、そして、自分なりの方法で深め、「できた」を重ねていくことで、「学び」が自分のものになります。3学期は、1年間のまとめの学期。短い期間に新たに学ぶことだけでなく、これまでに学習したことの復習もして、身に付けなければなりません。子どもたちが次の学年に向けて自信を持って進めるよう、教職員も一層「分かる」授業づくりに努めます。おうちでも、かしこくなろうとがんばる子どもたちに「できたね」「がんばっているね」と声を掛けてやってください。

どの子も「かしこくなりたい」「できたことを認めてほしい」と思っています。2月も、子どもたちが一人で、そして仲間と一緒に「やってみる、あきらめない」ことで「できた！」を重ねられるよう、指導・支援に当たっていきます。どうぞ、ご支援・ご協力ください。



校長 小森 昌子  
教職員 一同

### 「試行錯誤する力」

1月は、地域の方に来ていただき、子どもたちに話をしていただいたり、一緒に活動していただいたりする機会がたくさんありました。本当にありがたいことです。

短歌づくりや昔遊び、昔の道具など、分野は様々でしたが、相通じるところがあると感じることがありました。

それは、「試行錯誤する力」です。

短歌を作るとき、俳句を2句作って、それを合わせて短歌にすると作りやすい、というコツを教えてください、作り始めた6年生の子どもたち。ど

の言葉を削って、どうつなげようか、いろいろと考えます。こうしたら・・・、こっちの方が・・・などと試行錯誤しながら、多くの子が素敵な短歌を作り、ほめていただきました。

風車がうまく回らなかった1年生。こうかなあ、もう少しこうしたほうがいいかなあ、と走って回してみても、何度も繰り返し、「成功した！」

あれこれ考え、やってみて、失敗して、また、考える・・・試行錯誤する力は、まさに生きる力につながります。遊びでも勉強でも、諦めずに試行錯誤を楽しむ子どもたちに育てたいと思います。